

知床国立公園利用適正化検討会議について

1. 設置目的

知床国立公園の望ましい保護と利用のあり方について平成13年度に策定された知床国立公園適正利用基本構想に基づき、知床国立公園の適切な保護と利用の推進を図るため、学識経験者、関係団体及び関係行政機関により構成する利用適正化検討会議を設置。

2. 検討事項

- (1) 利用適正化基本計画に関する事項
- (2) 利用適正化基本計画の具体化に関する事項
- (3) 利用ルールに関する事項
- (4) その他目的達成のために必要な事項

3. 構成

検討委員、地域関係団体、関係行政機関

・検討委員（五十音順、敬称略）

- 小川 巖（エコネットワーク代表）
- 小林 昭裕（専修大学北海道短期大学教授）
- 新庄 久志（釧路市環境政策課湿地保全主幹）
- 辻井 達一（財団法人北海道環境財団理事長） ※座長
- 中川 元（斜里町立知床博物館長）
- 中易 紘一（財団法人北海道林業会館 理事長）

4. 平成19年度の検討状況

平成19年8月8日 平成19年度第一回検討会議

- ・「先端部地区利用の心得」の議論

平成20年1月21日 平成19年度第二回検討会議

- ・「先端部地区利用の心得」の決定
- ・「平成19年度知床半島中央部地区利用適正化実施計画」の議論
- ・「平成19年度平成19年度知床国立公園の利用について」報告

平成20年3月18日 平成19年度第三回検討会議

- ・「平成19年度知床半島中央部地区利用適正化実施計画」の決定
- ・「中央部地区利用の心得」の議論

5. 平成20年度の予定

平成20年7月頃 平成20年度第一回検討会議

- ・「中央部地区利用の心得」の決定